

14 未来に続く魅力あるまちづくりの推進について

【国土交通省】

長野県の状況

●未来に続く魅力あるまちづくりの推進

・まちづくりを県総合5か年計画のプロジェクトに位置付け、UR都市機構との包括協定締結や、公民学が連携した「信州地域デザインセンター」を設置。県が積極的に関与して市町村を支援し、魅力あるまちづくりを推進

取組

- 県内27箇所**都市計画道路の整備**を推進中
- 個性を活かした、魅力とにぎわいのある**都市公園の整備**を推進
- グリーンインフラの導入と推進**（アクションプラン：2021～2025年）
- 居心地が良く歩きたくなるまちづくりの推進**

- 公・民・学が連携し、市町村の魅力あるまちづくりを支援する
「信州地域デザインセンター（UDC信州）」
 を開設(R1)、30市町村から46案件の相談（R3.3末）



高校と連携した街の魅力探し

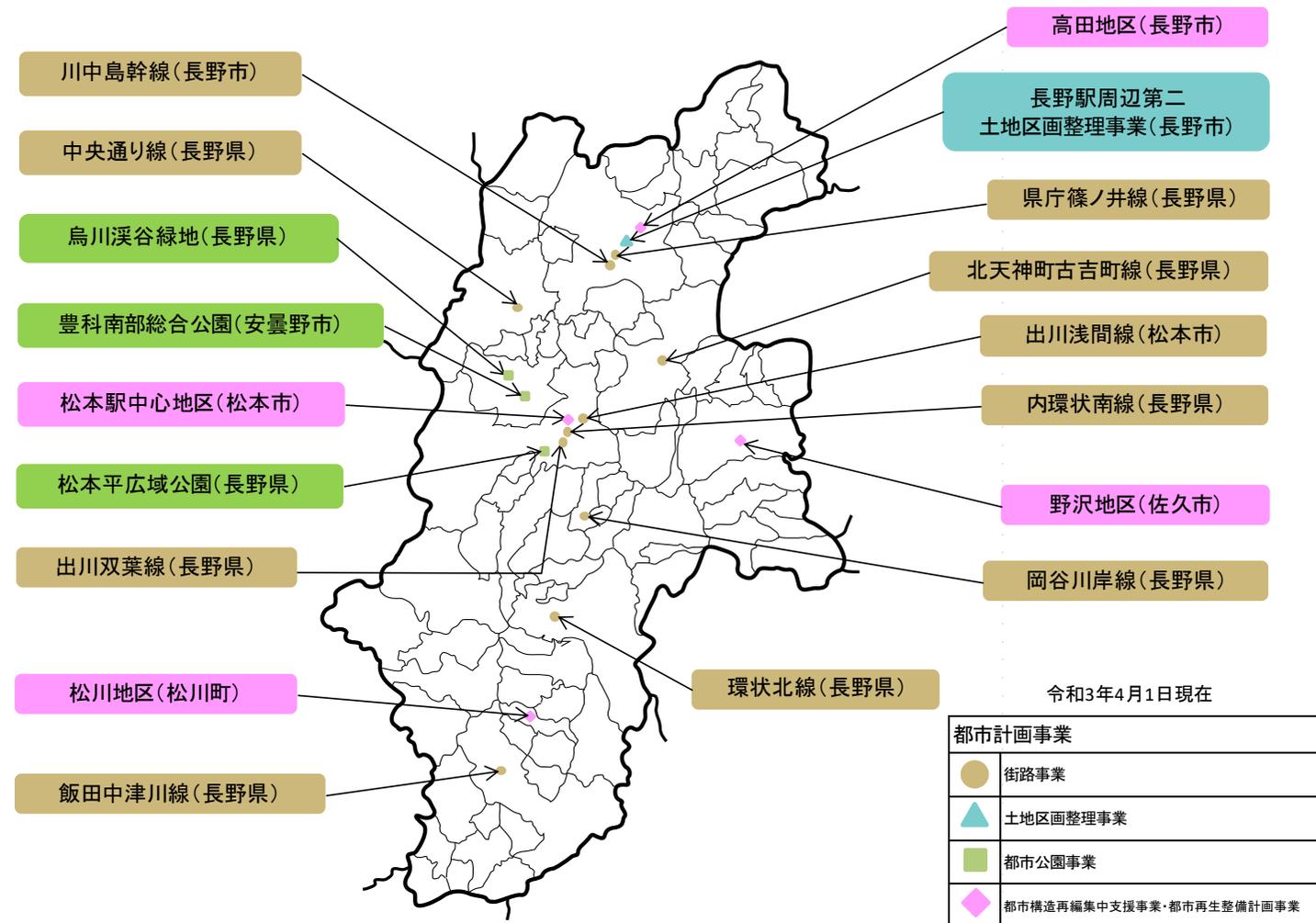


民間企業と連携した社会実験

- 2028年に、**第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会**を開催予定

- 空き家対策として、「空き家対策セミナーの開催」・「市町村へ専門家の派遣」など、市町村の取組へ支援を実施

主なまちづくり整備箇所



課題

- 都市計画道路や都市公園整備、市町村のまちづくりに必要な財源の確保が課題
- 国民スポーツ大会の安全な開催、円滑な運営に向けて、総合開・閉会式場及び各競技会場となる都市公園の運動施設の整備、老朽化した施設の改修が必要



松本平広域公園陸上競技場
(昭和52年度供用開始)

国スポ総合開・閉会式場及び
陸上競技会場に決定

<街路事業(県事業)>



内環状線(松本市)

<都市構造再編集中支援事業(市町村事業)>



【野沢地区(佐久市)】

- 所有者・相続関係人が不明の空き家が増加し、保安上危険な状態等の空き家対策が早期に必要
- 空き家の利活用の推進のためには、阻害要因である残存家財の撤去が必要

提案・要望

1 安全で快適な都市空間の確保のための予算措置

都市計画道路や都市公園の整備推進、市町村が進める都市構造再編集中支援事業など、まちづくりに必要な予算を確保すること

2 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催に伴う施設整備への支援

国民スポーツ大会開・閉会式場及び各競技会場の施設整備に必要な予算を確保し支援すること

3 所有者不明の特定空き家等の危険除去のための補修及び一部解体並びに空き家等に残存する家財の撤去に対する財政措置

空き家対策総合支援事業に、所有者不明の特定空き家等の危険除去のための補修及び一部解体並びに空き家等に残存する家財の撤去に対する財政措置を講じること